

令和6年5月14日
東京神奈川森林管理署

○ 丹沢自然休養林「戸川表尾根線（政次郎尾根登山道）」の補修に関する協定を締結しました

丹沢山地は多くの登山客が訪れていますが、その主峰である蛭ヶ岳、丹沢山、塔ノ岳の稜線の南部～南西部は国有林となっています。この地域の国有林は貴重な生物群集を保存している保護林やレクリエーションの森等として管理しています。

この度、東京神奈川森林管理署は、塔ノ岳への登山ルートの一つであり、レクリエーションの森内の施設として位置づけられている政次郎尾根登山道の補修に関する協定を表丹沢登山活性化協議会※と締結しました。

同協議会は、この協定に基づく登山道の補修活動を通じて表丹沢の登山の活性化に取り組むとともに、当署はその活動に必要な助言・指導を行う事としています。

今後、登山道の補修活動については、同協議会がボランティアを募る等により実施する予定とのことですので、協議会公式の [facebook](#) や [YAMAP](#) などで情報をご確認ください。

※表丹沢登山活性化協議会（代表 神野雅幸氏）は、長年休業状態で放置されてきた新大日茶屋の建物解体撤去活動を主導するなど、表丹沢の環境保全や登山の活性化を推進している団体

協定書にサインしている神野代表（右）と中村署長（左）



サインした協定書を持つ両者



